

街に、ルネッサンス



環境報告書

まち・住まいと環境 2022 ダイジェスト



街に、ルネッサンス



環境報告書

まち・住まいと環境 2022

ダイジェスト

2022年 7月発行

独立行政法人都市再生機構
〒231-8315
神奈川県横浜市中区本町 6-50-1 横浜アイランドタワー
TEL.045-650-0111
<https://www.ur-net.go.jp/>

環境報告書 まち・住まいと環境 2022

環境報告書(本編)は、WEBから
ダウンロードが可能です。
<https://www.ur-net.go.jp/e-report/>



UR都市機構は、環境に配慮した取組を さまざまな業務フィールドで進めています

UR都市機構は、あらゆる分野において、幅広い関係者とのパートナーシップを充実・強化して、持続可能でレジリエンスの高い循環共生型のまちづくりを目指しています。

SDGs (Sustainable Development Goals)は、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。UR都市機構ではさまざまな事業の推進により、SDGsにも貢献していきます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



環境活動



リニューアルプログラムを活用した
既存ストックにおけるリニューアル工事の実施



団地の豊かな自然を活かした環境教育と
地域コミュニティ形成への取組

社会貢献活動



防災性向上とあわせた
エリアの価値向上の推進



循環共生型都市開発等への
ニーズに対する支援

ガバナンス



ステークホルダーとの対話
UR防災専門家制度を活用した
地域関係者への防災セミナー



UR都市機構は、国の政策実施機関として
約70年にわたり政策課題に向き合ってきました。
その専門性・人材面での強みを活かし、
多様な主体との連携により、
さまざまな価値を創出し、
持続可能な社会の実現に貢献していきます。

URミッション
人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちをプロデュースします。

URスピリット
CS（お客様満足）を第一に、新たな価値を創造します。
創意工夫し、積極果敢にChallenge（挑戦）します。
力を結集し、Speedy（迅速）に行動します。

環境活動



地球温暖化対策 (気候変動への対応)



まちや住まいのエネルギー消費の低減、環境負荷の少ない新しいエネルギーの活用、職員の省エネ意識の向上等を進めています。

■ 省エネ型の設備や機器の積極的な導入



UR賃貸住宅では共用部照明のLED化を進めています。
コンフォール柏豊四季台（千葉県柏市）

資源循環 (廃棄物の削減)



まちや住まいの計画、設計、建設、居住、改修、解体の各段階で、資源の有効利用と廃棄物の削減を進めています。

■ 地方都市再生における既存建物の有効活用



古民家をリノベーションしたサテライトオフィスを開設しました。
うみがめラボ（徳島県美波町）

自然環境 (自然破壊への対応)



多様な機能を有する自然環境と調和したまちづくりを進めます。また、環境負荷の低減や居心地の良い空間形成を図るため、周辺とのネットワークの形成を意識した広域的な視点で、グリーンインフラを活用した計画・設計を進めています。

■ グリーンインフラを活用した計画・設計



団地屋外空間の新たな過ごし方を検討するため、プレイスメイキング実証実験を実施しました。
大島六丁目団地（東京都江東区）

■ 市民とともに育て続ける公園整備の実現



「市民とともに育て続ける公園」をコンセプトに、UR都市機構の防災公園街区整備事業と大阪府高槻市の史跡整備事業が一体となり、整備しました。
安満遺跡公園（大阪府高槻市）

社会貢献活動



安全・安心、快適



健康や衛生に関わるまちや住まいの安全・安心と快適性を確保します。

■ 良好な都市景観の形成



緑を活かした住まいづくりを行うことで、魅力的な景観の形成と防災性向上を実現しました。
コンフォール松原（埼玉県草加市）

■ 市街地における避難地不足や災害脆弱性に対応する防災公園の整備



災害時に避難可能な広場やマンホールトイレなどの防災施設を備えた防災公園を整備することで、災害に強いまちづくりを進めています。
鶴見花月園公園（神奈川県横浜市）

環境コミュニケーション



ステークホルダーの皆様と積極的なコミュニケーションを行うことで、真に求められるまちや住まいのあり方を模索し、環境にやさしい持続的発展が可能な都市への再生を進めます。

■ 常盤平団地における豊かな緑地の利活用



民間事業者と共同で、団地環境資産の魅力分析や利活用方法を検討しています。
常盤平団地（千葉県松戸市）

■ 魅力的な遊び場づくりのためのイベント「ひろばがそVIVA!」を開催



団地の魅力的な遊び場づくりによる地域活性化・屋外整備の有効活用を図るため、移動式の遊び場イベントを開催しました。
高洲第二団地（千葉県美浜区）

(PICK UP)

気候変動により激甚化する災害への対応

UR都市機構では、近年激甚化・頻発化する災害の要因である気候変動に対し、事前防災や復旧・復興に係る啓発活動等を実施しています。

江の川流域の河川整備とまちづくりの一体的推進に向けた支援

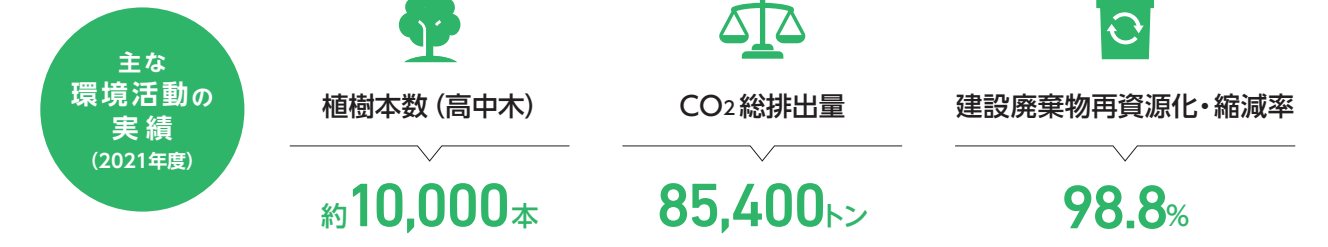


中国地方最大の河川である江の川流域は、これまでに何度も水害に見舞われ、早期の河川整備やまちづくりが求められています。UR都市機構は2021年4月、中国地方整備局・県・市町で構成される江の川流域治水推進室と覚書を交換し、河川整備とまちづくりの一体的な推進に向けた技術的な支援を行っています。



地方公共団体職員や地域の方々への講演等の実施

東日本大震災の復興支援から得られた教訓に関する講演、及び今後の災害対応に向けて得られた知見等をどのように活かしていくのかについて、学識者とUR都市機構職員によるパネルディスカッションを実施しました。



気候変動に対する緩和策・適応策

緩和策
本報告書で取り上げている活動報告のうち、緩和策・適応策の該当事例に下記のマークを付けています。

緩和策
気候変動を引き起こす原因となるCO₂排出量の削減や、CO₂吸収源（樹木等）の増加を図ることをいいます。



適応策
気候変動による悪影響にあらかじめ備えておくことで、影響を回避・軽減することをいいます。



緩和策

適応策

CO₂排出量の削減 ▶ シェアサイクルポートの設置

雨水流出抑制 ▶ 雨水貯留槽の設置